

NST通信

医療法人 康仁会
西の京病院
NST委員会
第60号(R6年5月)
発行担当：栄養管理部



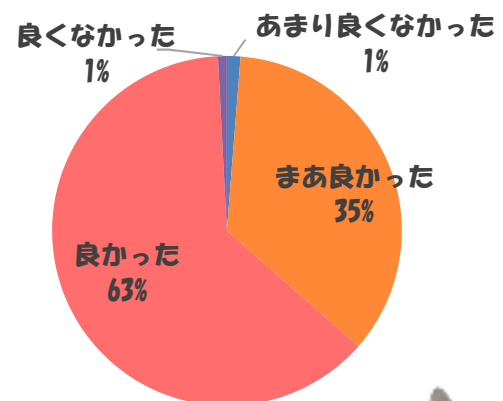
NST研修アンケート結果報告

★回答者数:244名

★職種内訳

職種	人数
看護師	119
理学療法士	24
ナースエイド	21
事務	18
検査技師	16
作業療法士	8
臨床工学技士	7
管理栄養士	6
クラーク	5
ケアマネジャー	5
薬剤師	5
言語聴覚士	4
放射線技師	2
その他	4

★研修内容について



★問題1 正しいものはどれか 正答率:90%

- NST専任・専従の登録には学会の指定するNST研修を受ける必要がある
- × NSTの加算点数は1症例当たり100点である
→1症例につき 栄養サポートチーム加算200点 + 歯科医師連携加算50点 合計250点
- × SGA評価を薬剤師が行っている
→病棟看護師が入院時に実施しています
- × 栄養評価には身長や体重など身体計測は必要ない
→身長、体重からBMIや必要栄養量を算出するため、入院時・入院経過中の計測は
栄養評価する上でとても重要です

★問題2 誤っているものはどれか 正答率:81%

- × 栄養療法は出来る限りTPN（中心静脈栄養）を選択する
→中心静脈栄養はカテーテル感染などのリスクもあるため、まずは経口栄養や
経腸栄養を検討する
- IDPNは透析回路から高カロリー輸液を投与する栄養療法である
- NRI-JH8点以上が中等度リスク以上である
- 透析NSTは低栄養リスクのある入院透析患者を対象としている



★今後NST研修で取り上げて欲しい内容

栄養補助食品、輸液の内容について 症例報告 誤嚥性肺炎、食事形態について 認知症への対応

★意見・感想

- ・NST介入やIDPNの説明が分かりやすく、低栄養の患者様への関わり方の意識が変わった。
今後に活かしたいと思った。
- ・透析中に輸液を行っていることは知っていたが、980kcalものエネルギー投与がされていると知って驚いた。栄養はADLにも大きく影響するとデータで見られて分かりやすかった。

NSTへのお問い合わせは栄養管理部またはリンクナースへ
(栄養管理部PHS：913・970)